

「落ち着いて、時の 経つのを待ちなさい」

あなたは不安になっている。
次のことを考えなさい。内
的生活と周囲の世界にどんな
ことが起こっても、出来事や
人物の重要性は極めて相対
的である。落ち着いて、時の
経つのを待ちなさい。その
後、遠くから心静かに事件
や人物を見ることによって、
全体を眺めることができる
ようになるだろう。すると、
各々の事柄をあるべき場所
におき、真の大きさで見
ることができる。このように
すれば、もっと公

正な人となり、もっと多くの心配事を避けることができるのである。（道702）

11月19日

エマウスに行く途中で、イエスと弟子たちが話し合った場面を思い起こしてみましょう。人生が無意味に見えはじめるほど希望を失っていたあの二人と、イエスは歩みを共にされました。彼らの心痛をよく理解して、心の奥まで見抜き、ご自分の神的生活をいくばくか彼らにお伝えになったのです。

村に着いたとき、イエスはなおも先に行こうとされたので、二人の弟子はイエスを引き止め、無理に、泊まってくださいるようお願いしました。そして、パンを裂かれたとき、彼らの同行者がイエスであることに気づい

たのです。「一緒にいてくださったのはキリストだった」と彼らは叫び、「『道で話しておられるとき、また聖書を説明してくださったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか』と語り合った」13のでした。人々にキリストをもたらすのは信者の務めです。人々が、私たちから「キリストのよき香り」14を感じとるように振る舞うのは信者の義務です。使徒である信者の行いの中に、師のみ顔が浮かび上がらなければならないのです。（知識の香105）

.....

pdf | から自動的に生成されるドキュメント <https://opusdei.org/ja-jp/dailytext/Ochitsui-te-Tokino-Hetsu-nowo-Machinasai/> (2025/11/23)